



HIYOSHIDAI
平成28年5月1日

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区まちづくり協議会

発行責任者

林 堅 太 郎

編集責任者

村澤 真果呂

題字は
4-11-2
梶谷清苑さん

乗って残そうバス路線

江若バス利用促進運動展開へ

学区自治連と同まちづくり協議会は、住民の足確保のため団地内を運行する江若バス利用促進キャンペーンを展開することになり、「新たに年5回バスに乗る運動」を提案する。

江若交通の日吉台線バス利用実態によると、平成26年4月から27年2月まで10か月間のバス乗客は27万9457人。1日あたり直すと836人。年々減っている。ところが1年後の同時期、利用者は、2万2615人減の25万6842人。1日あたり70人減の766人となり、1年で乗客は8・4%も減少してしまった。

同路線の運行を維持するための最低必要乗車人員は26年度では1日あたり840人。ほぼ採算ラインに乗っていたが、27年度になると815人の採算ラインに対し766人の乗客しかなく赤字路線に転落している。27年度は、赤字縮小のため土曜日を中心に減便、あ

このまま乗客減が続くと赤字解消対策のため、減便、減便がさらに乗客減という悪循環に陥り、やがては路線廃止の憂き目に。多くの地方路線がたどった道を日吉台線も同じ道を進む可能性も。日吉台学区では、団地開業当初、日吉台線は、バス2台が連なっていた時代が客をさばっていた時代が

るていどの乗客減を想定していたが、予想以上の乗客減となり赤字に転落してしまつたという。

は、4月初め、江若交通とバス利用促進策の協議を開始。学区自治連は、1日あたり50人、1年で1万9000人の利用があれば、日吉台線が赤字にならないとみている。日吉台の人口約3800人から計算すると1年に1人が新たに5回多くバスに乗れば、この数字の達成が可能と試算。とりあえず「年に5回多くバスに乗ろう」を住民に呼びかけ、今後のこのキャンペーンの具体策を検討してゆくことにしている。

学区自治連功労者 1団体6氏に表彰状

学区自治連合会は、28年度地域功労者として、自主防犯推進会、小島雄一さん▽3丁目西、村田雅夫さん▽社会福祉協議会、浅山鞠子さん▽4丁目西、小島武さん▽3丁目東、有木清則さん▽1丁目南、森永勝博さんの6人と、花で癒そう絆会（西村敏江会長）の1団体を並び、28年度学区自治連通常総会の席上、表彰した。

表彰者の功績は以下の通り
小島雄一さん 自主防犯設立時から平成26年3月まで、子供たちの登下校、見守り活動に参加。行方不明者の捜索時にも積極的に協力した。
村田雅夫さん 平成22年度から3丁目西自治会長を歴任。その後も自主防犯会の活動や地域の各種行事にも協力。自治会の諸問題の解決に取り組んだ。
浅山鞠子さん 平成18年以来、福祉委員、ふれあい給食班、社協運営委員などを歴任。ふれあい給食の責任者として高齢者福祉に貢献した。
小島武さん 自主防犯活動ほか、代表者としてふれあい農園の活動を支えた。朝夕、パトロール、行方不明者捜索にも積極的に参加している。
有木清則さん 消防分団員活動ほか、学区行事に積極的に参画。学区内行事のすべてに模擬店出店団体、ABCクラブの先頭にたち、まつりや行事の伝承に努力した。昨年故人になられた。

森永勝博さん 自主防犯推進会に参加。防犯活動ほか、青少年の見守り活動、独居老人宅への安全カメラ設置、高齢者の後見人の役目を行なうなど福祉、防犯に貢献した。
花で癒そう絆会（西村敏江会長） 平成20年から湖西線高架橋から3丁目東までの高橋川沿いに花壇を整備。樹木剪定や維持管理など161号線から日吉台へ入る入口付近の環境美化に努力。活動を続ける。

学区自治連通常総会開催

新会長ら役員選出



野々口義信
学区自治連新会長

平成28年度日吉台学区自治連合会役員

役職名	氏名	自治会	担当
会 長	野々口 義信	三東	自治連担当役員 文化座
副 会 長	井上 晴雄	三東	自治連担当役員 学区運動会
	藤田 忠己	二北	自治連担当役員 福祉まつり
	奥津 広之	西西	自治連担当役員 福祉まつり
事務局長	大塚 幸雄	三西	自治連担当役員
会 計	北海 彰	一南	自治連担当役員
事務局長次席	西 治彦	一北	自治連担当役員
監事・記録係	栗田 博代	二南	自治連担当役員
	森田 文雄	一南	自治会役員
	池田 直樹	一北	自治会役員
	坂本 清太郎	二北	自治会役員
	牛野 義勝	三東	自治会役員
	奥津 孝夫	三西	自治会役員
	西村 博一	四西	自治会役員
	渡崎 博	三東	役員会幹事
	近藤 佳朗	二南	自治会役員
	市川 泰和	四東	自治会役員



学区自治連総会に出席し表彰されたみなさん（上段左は濱崎博前学区自治連会長）

誰もが参加できるまちづくり

5月22日、全体会議召集へ

日吉台学区まちづくり協議会（林堅太郎会長）は、5月22日午後2時日吉台市民センターで、全体的会議を開催する。同協議会は、25年度にスター

ト。全体会議では、これまで事務局を中心に検討してきた将来構想を提案するほか、住民だれもが、まちづくりに楽しく参加できる事業構築、運営ス

タッフを募ることで、「みんなで考え参画できるまちづくり」活動を本格的に始動させる。協議会事務局では1年間にわたり、今後の活動方針にくわえ、空き家問題や少子高齢化問題など、まちづくりの課題を検討した。今回はその検討結果をふまえ、10年後を見据えた将来構想「日吉台まちづくりビジョン」を

また、昨年度設置した「日吉台新聞事業部」「子育て応援隊事業部」「新たに「空き家対策事業部」や手づくり市や農産物販売、フリーマーケットなどを定期的に行なう「日吉台マルシェ事業部」など、いくつものバリエーション豊かな事業を提案、幅広い層の住民に参加を呼びかけ、協議会の活動を大きく広げることになっている。

大規模盛土造成地分布マップ公表

日吉台で、10 数ブロック表示

大津市は、巨大地震で地滑り災害の恐れがある大規模盛土造成地として特定した「大規模盛土造成地分布マップ」を市のホームページ上で公表した。日吉台では、10数ブロックが地図で示され、学区自治連ホームページにも転載されている。

阪神淡路大震災や新潟県中越地震で大規模に谷などを埋めた造成地で地滑り被害が多発。国の造成地地震対策に基づき、大津市が市内で現状把握調査を行い、市内73地区、113カ所、346の盛土ブロックがあることが判明した。

このマップは、宅地造成前の地形図に造成後の

地形図を重ね合わせ位置と規模を示したものの。市は、マップで示す箇所が直ちに危険ということではない、と強調、今後、土質調査やボーリングなど、の詳細調査を行わないと判定できない、としている。

日吉台の分布マップは市のホームページ上の分布マップNO4に掲載、学区自治連のホームページ

ジにも同じものが掲載されているが、この紙面ではマップが白黒表現となり、不鮮明のため掲載は見送らざるをえなかった。

市は、マップ公表にあわせ、大規模盛土造成地の位置づけ、マップ公表に向けた流れと取り組み状況を、今後の取り組みなどを記したリーフレットを作成、市民センターで配布、市民に理解を呼びかけている。

上西章司
日吉台市民センター所長



山本進

日吉中学校長



寺田賀寿代

日吉台幼稚園長



着任しました

春は異動のシーズン。日吉台学区関連では、日吉台市民センター所長、日吉中学校長、日吉台幼稚園長が交代、着任した。3人のみなさんに就任の抱負を語ってもらった。

長年にわたり行政現場で、さまざまな職や地域にかかわる業務に携わってきましたが、なぜかこの日吉台との直接のご縁がないまま今日にいたりました。いまだ地域の実情を十分把握できておらずみなさまがたには、今しばらくお手間を取らせたいと思ひますが、懸命に努めてまいりたいと存じますので、どうかよろしくお引き回しのほどお願いいたします。

平成3年から9年間、日吉中で生徒指導を担当したことがあり、2度目の勤務です。日吉中は地域に支えられる学校、以前の勤務でお世話になった顔なじみの人も多く、なつかしい。以前からもう一度勤務するなら日吉中と想っていたので念願がかなった感じでした。子供たちが人なつっこいのも変わっていない。愛と感動のある学校づくり。集団効力の得られる学校をめざしたい。

前任の坂本幼稚園から異動してきました。坂本幼稚園と日吉台幼稚園は園交流があり、日吉台への異動ということで楽しみにまいりました。まだ着任後日は浅いですが、地域のみなさんのあたたかさにつれ、感謝の思いですごしています。アットホームな雰囲気のおかげで幼稚園教育の充実に努め、街のホストステーションとしてみなさんに愛される幼稚園を目指したいと思っています。

琵琶湖大橋料金値下げ

琵琶湖岸を東西に結ぶ「琵琶湖大橋」の通行料金が改定となり、4月1日から値下げされた。新料金は普通車が20

ぴかぴかのランドセルを背負った新1年生は、お父さんやお母さんらに連れられ登校。校門の満開の桜を背景に記念撮影を

したあと式場の体育館へ。「二年生になったら」の歌にあわせて緊張気味に入場したが、

会場で新一年生の名前を呼ばれると元氣よく「はい」と答えていた。

市立日吉台幼稚園（寺田賀寿代園長）の入園式も11日に開催、1年保育1人、2年保育4人の計5人が入園した。

遊戯室で行なわれた入園式で新園児たちは、寺田園長が「幼稚園は楽しいことがいっぱいあります。元氣いっぱいあそんでくださいね」と呼びかけると、少しはにかみながらも笑顔でうなずいていた。

能・狂言面の展示とお話し会

5月19日センターで開催



2会議室で開かれる。
三丁目東自治会が、今年2月集会所で、三丁目東在住の能面作家、吹田静雲さんの作品展とお話し会を催したところ**Ⅱ写真Ⅱ**好評だったので、日吉台住民に幅広く能・狂言面を知ってもらおうと同自治会が主催、日吉台公民館の協賛で開催することにした。

能・狂言面の歴史や
由緒などを知る「能・
狂言面の展示とお話し」
が5月19日午後1時半、
日吉台市民センター第
一ホールで開催。同展
には、吹田さん所蔵
の能・狂言面約150
点を展示。当日は、
吹田さんが、日頃あ
まりなじみのない能
面などのいわ

払い戻しされる。

円などに値下げとなった。
従来の回数券は、9月30日まで琵琶湖大橋有料道路管理事務所▽道の駅「びわこ大橋米プラザ」▽県道路公社の3カ所で

同大橋は、有料道路建設債務残高が一括償還可能額までに減り、無料化案も検討されたが、値下げ案でまとまった。

今から始める介護予防

健康講座

学区老人クラブ連合会（中西耕司会長）は日吉台公民館と共催で6月2日午後1時半、市民センター大会議室で、春の健康講座「今ら始める介護予防」を行なう。入場無料。老ク連加盟の会員以外の自治会員の参加も自由。

健康講座の講師は、大津市保健総務課の理学療法士の西山直樹主査。会場スクリーンでの説明と会場で簡単な軽い運動などを行なう。

